

令和３年度 進行管理・評価シート
明和町歴史的風致維持向上計画（平成２４年６月６日認定）
（最終変更 令和４年３月１日）

□進捗評価シート(様式１)

①組織体制(様式１－１)		
１ 計画実施に向けた連携体制		1
②重点区域における良好な景観を形成する施策(様式１－２)		
１ 都市マスタープランの特定用途制限地域の取組み		2
③歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項(様式１－３)		
１ 斎宮駅前周辺広場・散策道等整備事業		3
２ 案内標識・サイン整備事業		4
３ 斎宮・斎王に関連する地域との連携事業		5
４ 文化遺産に関する総合的な情報発信事業		6
５ 体験プログラムなど魅力のある歴史的文化遺産の活用の構築		7
６ 歴史的文化遺産景観形成事業		8
７ 歴史的文化観光講座事業		9
８ ガイドボランティア育成事業		10
④文化財の保存又は活用に関する事項(様式１－４)		
１ 文化財調査、町による文化財指定		11
２ 文化財の周辺環境整備		12
３ 文化財の防災・防犯		13
４ 文化財に関する保存・活用の普及及び啓発		14
⑤効果・影響等に関する報道(様式１－５)		
１ 御系織や擬革紙 後世に明和 伝統工芸DVDに記録 ほか		17
⑥その他(効果等)		
１ 住民意識の向上		21
２ 学校教育との連携		23
□法定協議会等におけるコメントシート(様式２)		24

評価軸①-1
組織体制

評価対象年度		令和3年度
項目	現在の状況	
計画実施に向けた連携体制	☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	
計画に記載している内容	歴史的風致の維持及び向上に係る歴史まちづくりは、歴史・文化だけでなく、建設、観光、都市整備等の多分野に及ぶものであることから、庁内の各種関係部署などで構成した「明和町歴史的風致維持向上計画策定庁舎内会議」を設置し、相互の連絡調整を密に行うものとする。また、「三重県」や「明和町歴史的風致維持向上計画協議会」との連絡調整を行うと共に、「明和町文化財保護審議会」等への意見照会及び報告を行い、計画の実現を図るものとする。	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
まちづくり戦略課、建設課、斎宮跡・文化観光課が中心となって事業の進捗管理、評価について協議し、推進している。 令和3年度は、歴史的風致維持向上事業の第2期計画の円滑な実施に向けて、町議会、課長会議での事業の周知、地元自治会、関係団体へ事業の説明及び連携調整を行った。		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない		

状況を示す写真や資料等

計画策定時
(平成23年度)
 建設課 1人
 企画課 1人
 斎宮跡課 1人

地元説明会(新型コロナ対策のため書面で回覧)

 【内容】
 ・歴まち2期計画事業のについて
 ・令和3年度の事業概要


平成24年度

 まち整備課
 工務係 1人
 斎宮跡・文化観光課
 文化財係 1人
 文化観光係 1人
明和町歴史的風致維持向上計画協議会
(令和3年12月22日)

【協議内容】

1. 現地視察
2. 2期計画の事業について
3. 明和町歴史的風致維持向上計画の軽微な変更について
4. 都市再生整備計画事業の事後評価について



平成26年度～令和元年度

 まち整備課
 工務係 1人
 斎宮跡・文化観光課
 文化財係 2人
 文化観光係 1人


令和令和2年度～3年度

 まちづくり戦略課
 まち開発係 1人
 建設課課
 土木係 1人
 斎宮跡・文化観光課
 文化財係 2人
 文化観光係 1人

評価軸②-1

重点区域における良好な景観を形成する施策

項目	評価対象年度	令和3年度
都市マスタープランの特定用途制限地域の取組み		現在の状況
		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手

計画に記載している内容 景観の保全には規制が伴うことから、景観については、この歴史的風致維持向上計画の各事業を推進していくことで住民意識が芽生え、景観保全の機運の高まりと共に、明和町景観計画の策定や三重県屋外広告物条例制度の活用を、地域住民と協働して検討していく。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

町全域における特定用途制限地域の指定に向け、「明和町特定用途制限地域における建築物等の制限に関する条例」及び「明和町特定用途制限地域における建築物等の制限に関する条例施行規則」を平成27年4月1日に公布し、平成27年10月1日に施行した。

また、重点区域内の景観の規制について風景条例(案)の素案作成および景観行政団体への検討。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

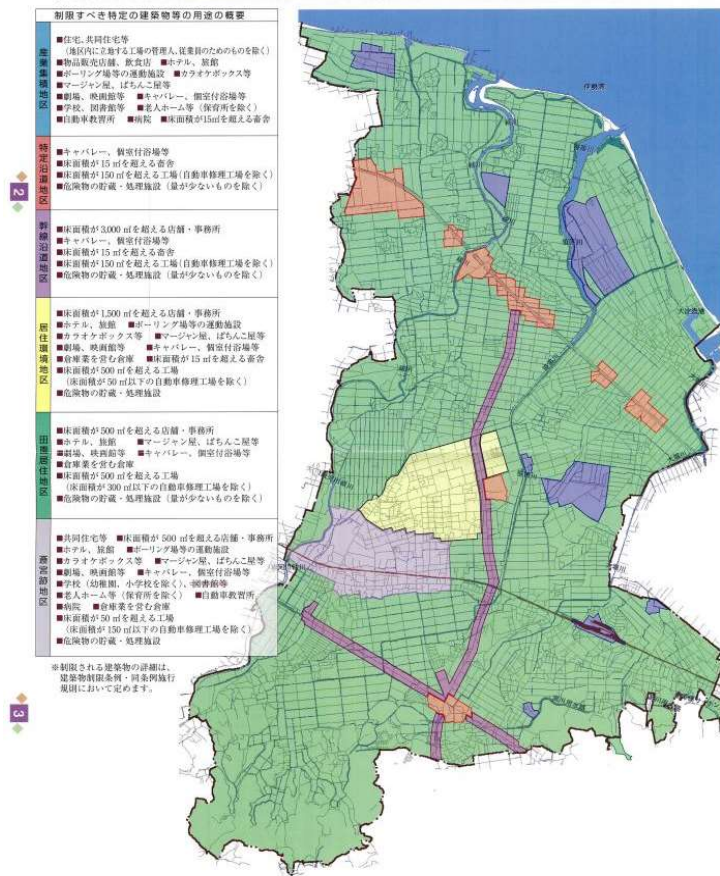
■計画どおり進捗している 継続して県との調整会議を実施する中で、方針として計画期間中に町が景観行政団体になるよう取り組むこととなっている。

□計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

特定用途制限地域の指定区域と制限される建築物の概要

明和町全域に6つの特定用途制限地域を指定します。それぞれの特定用途制限地域の方針と制限される建築物等の概要は次のとおりです。



評価軸③-1

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和3年度
			現在の状況
齋宮駅前周辺広場・散策道等整備事業			☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	令和3年度～令和7年度		
支援事業名	町単独事業		
計画に記載している内容	齋宮駅前広場および近鉄線を挟んで北側の史跡整備地と南側にある伊勢街道を結ぶ散策道を整備にする。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
齋宮駅舎、周辺店舗(旧明和スーパー、タクシー事務所、自転車預かり所)の外壁の色彩統一を実施(5棟)			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
 ウ-1 齋宮駅前周辺広場・散策道等整備事業			
			
			

評価軸③-2

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和3年度
		現在の状況	
案内標識・サイン整備事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	
事業期間	令和3年度～令和7年度		
支援事業名	町単独事業		
計画に記載している内容	誘導案内板に関して「史跡斎宮跡案内サイン等整備ガイドライン」に基づき、来訪者にわかりやすい統一したものに改修及び新設する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
1. いつきのみや歴史体験館の既設説明板の表示板を改修(1基) 2. 祓戸広場西側の散策道に誘導案内板を設置(1基)			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない			

状況を示す写真や資料等



改修前前



改修後

既設説明板の改修(いつきのみや歴史体験館前)

散策道へ誘導案内標柱設置
(祓戸広場西側)

評価軸③-3

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和3年度
		現在の状況	
齋宮・齋王に関連する地域との連携事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	
事業期間	令和3年度～令和12年度		
支援事業名	町単独事業		
計画に記載している内容	都から齋宮、齋宮から都への齋王が通ったゆかりの市町村と連携し、齋宮・齋王に関わりのある市町村が協議をして、全国PRに取り組む。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
齋王サミット準備会を亀山市、名張市、明和町の2市1町で準備会を立ち上げた後、具体的には進んでいない。 ただ、先だって、齋宮と関連のある「国指定史跡 久留倍官衙遺跡」と事業連携をおこなうため、平成28年度、四日市市と連携協定を締結した。本年は、連携事業として、四日市市久留倍官衙遺跡パネル展(令和4年3月18日～3月31日)をさいくう平安の杜で開催。(来場者764人)			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない		広域にわたることと、同様のサミット会議があることから、設立の趣旨を明確にすることが必要。今後は、事業計画(案)などを作成し、設立準備会を開催する。	
状況を示す写真や資料等			
(趣旨) 都から齋宮・伊勢神宮、齋宮から都へ齋王群行が通った市町、或いは齋王にゆかりのある市町とサミットを開催し、齋王に関わる市町が齋王にまつわる物語や歴史を掘り起こし、連携して全国にPRし、地域の活性化に寄与する。 【関連市町】 県内: 亀山市、津市、松阪市、明和町、伊賀市、名張市 伊勢市、(鈴鹿市)(四日市市) 県外: 京都府: 京都市、木津川市、大山崎町 滋賀県: 大津市、草津市、栗東市、湖南市、甲賀市 奈良県: 宇陀市、奈良市 大阪府: 大阪市			
 			
四日市市久留倍官衙遺跡パネル展(さいくう平安の杜 西脇殿)			

評価軸③-4

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和3年度 現在の状況
歴史的文化遺産に関する総合的な情報発信事業			☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	令和3年度～令和12年度		
支援事業名	町単独事業事業		
計画に記載している内容	史跡斎宮跡や日本遺産構成文化財を重点区域の文化遺産をSNSの活用やパンフレット、散策マップ等で広く一般に情報発信をする。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
1. イオン明和特設会場にてFM三重「あつとえりかとみんなのラジオ」公開収録で斎宮を情報発信。(令和3年8月7日) 2. 古民家を活用したインターネットラジオ局「斎宮すたじお」で斎宮の話題を情報発信。(毎週土曜日に30分番組2本放送) 3. イオン明和内に設けた魅力発信ブースで斎宮をPR(令和3年4月～令和4年3月)			
進捗状況	※計画年次との対応		
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	

状況を示す写真や資料等



FM三重公開収録風景(イオン明和 8月7日)

fmGIG「あそぼう伊勢斎宮歴史の泉」収録風景
(斎宮すたじお)

斎宮魅力発信ブース(イオン明和 令和3年4月～令和4年3月)

評価軸③-5

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和3年度
			現在の状況
体験プログラムなど魅力のある歴史的文化遺産の活用の構築			☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	令和3年度～令和12年度		
支援事業名	町単独事業		
計画に記載している内容	斎宮跡の整備された区域を奈良・平安時代の装束を着て散策し、当時の雰囲気を感じてもらおうなどの体験プログラムを構築し、国内外の旅行者の満足度向上を図る。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
コロナ禍で体験古代衣装の貸し出しは中止であったが、史跡斎宮跡を熱気球で広大な史跡を遠望してもらう搭乗体験(3回)実施。 また、町内の歴史的遺産をレンタサイクルによるモニターツアー体験を実施。また、近畿日本鉄道主催で、史跡斎宮跡をスタートに明和町の歴史的資源、施設を巡る鉄道ロゲイニングが開催された。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
			
レンタサイクルモニターツアーの様子		擬革紙体験	
			
史跡遠望 熱気球搭乗体験(令和4年1月9日)		熱気球から史跡の遠望	

評価軸③-6

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

令和3年度	
評価対象年度	
項目	現在の状況
歴史的文化遺産景観形成事業	☐実施済 ☒実施中 ☐未着手
事業期間	令和3年度～令和12年度
支援事業名	町単独事業
計画に記載している内容	斎宮跡地内・日本遺産構成文化財周辺を景観に配慮した美装化を図るため、企業等の協力も得ながら、欄干・ガードレール・カーブミラー・各種標識柱等の色を統一する。また、景観を阻害する空き家・工作物等を撤去するなど歴史的周辺環境の整備を行う。
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で	
(株)近畿日本鉄道、(一社)明和観光商社、多気郡農協など民間の協力を得て斎宮駅舎の美装化と伊勢街道沿いにある多気郡農協の空き店舗(旧斎宮支店)の解体撤去を実施。	
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
☒計画どおり進捗している ☐計画どおり進捗していない	



斎宮駅改修後



撤去前

伊勢街道沿いの多気郡農協 旧斎宮支店の建物解体撤去

撤去後

評価軸③-7

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

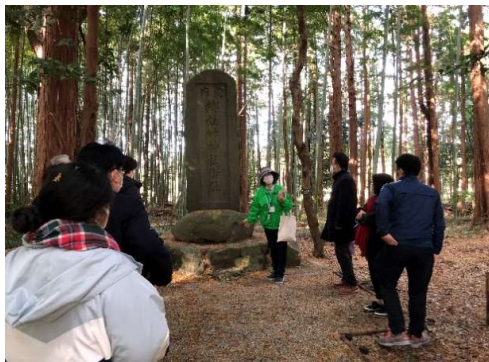
項目		評価対象年度	令和3年度
		現在の状況	
歴史的文化観光講座事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	
事業期間	令和3年度～令和12年度		
支援事業名	町単独事業		
計画に記載している内容	来訪者や町民(子どもを含む)を対象にした歴史・文化財・観光についての講座を開催する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
1. 発掘成果報告会「ここまでわかった！ 斎宮」(令和4年3月20日 斎宮歴史博物館)の開催 (60名) 2. 公民館講座 郷土史(年10回)の開催 (各回約40名) 3. 斎王トークショーの収録(11月19日)及び斎宮ゲートウェイシンポジウム(2月19日)の開催			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
			
発掘成果報告会(斎宮歴史博物館 3月20日)		公民館講座「郷土史」の風景	
			
斎王トークショー(ゲスト:壇蜜さん) (令和3年11月19日 斎宮歴史博物館講堂)		神宮ゲートウェイシンポジウム(リモート) (令和4年2月19日)	

評価軸③-8

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和3年度 現在の状況
ガイドボランティア育成事業			☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	令和3年度～令和12年度		
支援事業名	町単独事業		
計画に記載している内容	日本遺産の構成文化財が多く所在する大淀地区にガイドボランティアを設立し、講習会など開催し、活動内容の充実を図る。また、斎宮地区の斎宮ガイドボランティアと連携して重点区域の魅力を来訪者に伝えられるようにする。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
1. コロナ対策により活動休止(5月、6月、9月、2月) 2. 月末に月例会を実施勉強会を行い内容の充実を図った。(8月、9月、1月、2月休止)			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない			

状況を示す写真や資料等



史跡斎宮跡地内の案内風景

案内の実績 (2021年4月～2022年3月)

5月、6月、9月、2月	活動は休止	他の月	活動はできる範囲で実施
・案内件数	104件：内予約24件	昨年度(6件：	2件)
・案内総人数	794人：617人	(40人：	36人)
・ガイド延人数	117人：56人	(4人：	3人)

令和3年度案内実績

評価軸④-1

文化財の保存又は活用に関する事項

項目		評価対象年度	令和3年度
		現在の状況	
文化財調査、町による文化財指定			☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
計画に記載している内容	有形の文化財については、現状の保存状態を調査し、修理の必要な文化財には対策を講じ、無形の文化財については、継承を図れるよう支援する。 未指定の文化財については、順次、調査・研究を行い、得られた結果から適切な価値付けを行って、必要に応じて文化財の指定について検討を行っていく。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
1. 令和 4年2月25日 宗教法人長光寺所有の木造阿弥陀如来立像 1軀(平安時代)明和町文化財に指定した。 2. 高塚1号墳を町の指定に向けて明和町郷土文化を守る会が所有者の了解を得て清掃活動や測量調査等の実施。 3. 指定候補を主に無指定文化財詳細調査を実施。(仏像、獅子舞、道標、古民家等)			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない			

状況を示す写真や資料等



新指定前の長光寺仏像調査



民俗資料調査



馬之上の獅子舞聞き取り調査



伊勢街道の道標調査

評価軸④-2

文化財の保存又は活用に関する事項

項目		評価対象年度	令和3年度
文化財の周辺環境整備			現在の状況
			☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手

計画に記載している内容 文化財周辺の環境整備や文化財を活用するための施設を整備する場合には、歴史的な趣(おもむき)に配慮した道路の美装化、電柱や標識柱及び照明施設やガードレール等の色彩にも配慮した整備を行政、企業、地域住民の協力を得ながら取り組む。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

・所有者の協力を得て、斎宮駅周辺の建物(5棟)や伊勢街道沿いの建物(1棟)の外壁及び一部改修を行った。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

☒計画どおり進捗している
☐計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



伊勢街道沿いの建物



斎宮駅周辺の建物

評価軸④-3

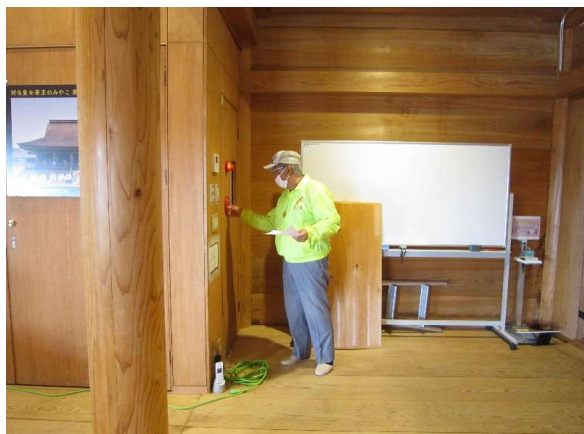
文化財の保存又は活用に関する事項

項目		評価対象年度	令和3年度
文化財の防災・防犯			現在の状況 ☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
計画に記載している内容	指定文化財は、行政だけではなく、文化財の所有者、管理者、地域住民の参加を呼びかけ、防災・防犯意識の啓発に努めるとともに、どのような訓練が必要か、文化財の緊急避難先はどこか、などをあらかじめ協議し、未指定文化財は、災害・盗難発生時に県や、他機関とも情報共有を行い、広域的な保存施策がとれるよう、文化財・歴史文化資源リストの作成を行い、リストの充実を行うことで、災害・盗難発生時の迅速(じんそく)な対応がとれるよう整備に努める。また、必要に応じて防犯カメラや消防設備の設置及び最新設備への更新、耐震の措置を図るよう努め、文化財の防災・防犯に対する備えを万全にする。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
文化財防火デーに合わせ、いつきのみや歴史体験館(1月26日)、斎宮平安の杜(1月29日)において防火訓練(放水訓練)を実施した。また、消防用設備、消火器の点検や取り扱いの指導も行われた。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない			

状況を示す写真や資料等



いつきのみや歴史体験館(令和4年1月26日実施)



さいくう平安の杜(平成4年1月29日実施)

評価軸④-4-1

文化財の保存又は活用に関する事項

		評価対象年度	令和3年度
項目		現在の状況	
文化財に関する保存・活用の普及及び啓発		☐実施済 ☒実施中 ☐未着手	
計画に記載している内容	史跡斎宮跡をはじめ町内各地に点在する文化財等の歴史的資源に対して、町広報等で紹介したり、各種イベントやシンポジウムの開催時に啓発や発表の場を設けて、町民、来訪者が触れ親しむ機会を一層創出することで、文化財の保存及び活用に対する地域住民の理解をさらに深められるような普及啓発活動に努める。		
	定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
1. 企画展「北へ広がる北野遺跡」を明和町歴史民俗資料館にて令和3年7月20日～8月26日に開催した。 (来館者115名)			
2. 解説シートを1種類作成、さいくうあと通信34号、35号を発行			
3. 北野遺跡発掘調査現地公開の実施(令和2年9月24日:見学者680人)			
4. 史跡斎宮跡(御館地区)発掘調査現地公開の実施(令和3年7月24日:見学者80名)			
5. 露越遺跡現地公開の実施(令和4年2月1日:見学者35名)			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒計画どおり進捗している ☐計画どおり進捗していない			

状況を示す写真や資料等

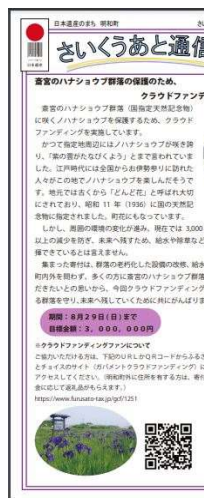


企画展「北へ広がる北野遺跡」(令和3年7月20日～8月26日)

展示チラシ



解説シート



さいくうあとと通信

項目

文化財に関する保存・活用の普及及び啓発

状況を示す写真や資料等



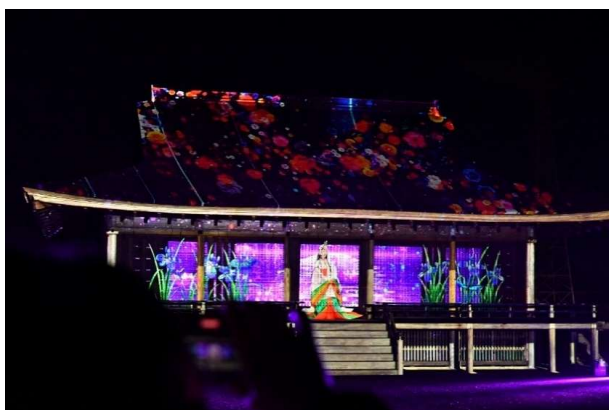
史跡斎宮跡(御館地区)発掘調査現地公開風景(7月24日)



露越遺跡現地公開風景(2月1日)



斎王かみしばい(8月19日)



プロジェクションマッピング(11月19日~21日)



アート歌舞伎の公演(8月4日)

項目	評価対象年度	令和3年度
文化財に関する保存・活用の普及及び啓発		
状況を示す写真や資料等		



ドライブインシアター（12月24日、25日）



熱気球の灯りイベント(10月16日、11月14日)



音楽イベント こどもドラム体験(11月16日)

神宮ゲートウェイ斎宮ラッピングレストランバス
(11月～2月)神宮ゲートウェイラッピング電車
(名古屋～鳥羽間運行)斎王群行列車(京都～斎宮12回運行)
参加者405名

評価軸⑤-1

効果・影響等に関する報道

報道等タイトル		年月日	掲載紙等
御糸織、三忠の擬革紙など 明和町など第3段作成 無形文化財の技術を記録		R3.4.16	夕刊三重
文化財の保存活用計画講演で50人聴く 明和町郷土文化守る会		R3.4.24	夕刊三重
斎宮跡「正殿」にひさし 柱跡調査 格式高い建物 祭祀用か		R4.1.13	読売新聞
斎宮や伊勢街道の環境整備へ 明和町 歴史資源生かす第2期計画認定		R3.4.1	中日新聞
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
史跡斎宮跡や日本遺産をはじめとする町内文化財の保存活用について各報道機関に取上げてもらったことで、町内外に周知することができた。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
□計画の進捗に影響あり ■計画の進捗に影響なし			
状況を示す写真や資料等			
●明和町の文化財に関する記事 ・御糸織や擬革紙 後世に 明和 伝統工芸DVDに記録 (2021年4月15日 中日新聞) ・御糸織、三忠の擬革紙など 明和町など第3段作成 無形文化財の技術を記録 (2021年4月16日 夕刊三重) ・文化財の保存活用計画講演で50人聴く 明和町郷土文化守る会 (2021年4月24日 夕刊三重) ・謎の焼き物 正体に迫る 明和で企画展 水筒？仏器？斎宮跡でも出土「つぼG」 (2021年5月9日 中日新聞) ・たなびく紫雲 明和 (2021年6月3日 読売新聞) ・初夏に映える紫 斎宮のハナショウブ 保全へ町がCF (2021年6月4日 朝日新聞) ・「紫の雲」ノハナショウブ見ごろ 三重・明和町の湿地 (2021年6月7日 CBCテレビ) ・ノハナショウブ 後世に 明和町、保護へCF募る (2021年6月8日 中日新聞) ・ハナショウブ群落保護を明和町が寄付金募る クラウドファンディングで (2021年6月8日 夕刊三重) ・明和・上村 中組で道切り行事 集落入り口に疫病防ぐ しめ縄 (2021年6月29日 中日新聞) ・新わらのほこらで疫病退散を 明和の西出地区「天王さん」作り替え (2021年7月13日 中日新聞) ・男衆、7時間かけ新調 明和町指定文化財 地元自治会が作業 佐田西出天王のお社塔 (2021年7月13日 夕刊三重) ・初出土の石製模造品など 明和町ふるさと会館で 北野遺跡の最新発掘情報展 (2021年8月2日 夕刊三重) ・明和の伝統後世に 記録DVDを販売 町遺産活用推進協 (2021年8月4日 中日新聞) ・ここでも戦争はあった—2021年夏⑤ 明和町史跡の防空壕 住宅街の「歴史の証人」 (2021年8月18日 中日新聞) ・北へひろがる北野遺跡—最新発掘情報展— (2021年8月19日 読売新聞) ・古墳時代 庶民の生活生き生き 北野遺跡 集落跡など昨年確認 明和町で出土品展示 (2021年8月24日 中日新聞) ・無形文化財記録DVD (2021年8月26日 読売新聞) ・寄付金一気に360万円に (2021年9月2日 夕刊三重) ・明和町斎宮のハナショウブ群落 報道後、保全に賛同者急増 ・支店再編の総仕上げ JA多気郡 明和南支店(明和町 上野)がオープン 2021年9月28日古墳時代の北野遺跡 出土品展示と解説も (2021年9月28日 夕刊三重) ・新しい風 ジョーシキに挑む人たち④擬革紙 復活の技術未来に残す 玉城「参宮ブランド擬革紙の会」代表・堀木さん (2022年1月6日 中日新聞) ・明和町指定文化財 大淀地区で初、彫刻指定 長光寺(大淀乙)の木造阿弥陀如来立像 平安後期の特徴示す造形 地域の仏教文化知る資料 (2022年3月1日 夕刊三重) ・明和町文化財 新たに1件 長光寺の木造阿弥陀如来立像 (2022年3月2日 中日新聞) ●史跡斎宮跡発掘調査に関する記事 ・謎が多い壺「須恵器壺G」 発掘調査続く斎宮跡の最新調査を展示 (2021年4月12日 三重テレビ放送) ・飛鳥時代の斎宮 西門や拡張の痕跡発見 博物館が5年の調査結果を総括 目隠し堀か蕃堀か議論も (2022年1月4日 夕刊三重) ・初期斎宮の規模、構造判明 明和町 15日に現地説明会 (2022年1月12日 伊勢新聞) - 斎宮 飛鳥期建物の詳細判明 明和の国史跡 正殿や西第一堂などの規模・構造 歴史博物館「成立考察の上で重要な成果」 (2022年1月12日 朝日新聞) ・斎宮跡「正殿」にひさし 柱跡調査 格式高い建物 祭祀用か (2022年1月13日 読売新聞) ・正殿の規模と構造 判明 明和 斎宮歴史博物館調査 南北にひさし 格式高く (2022年1月13日 中日新聞) ・斎宮跡で15日、説明会 建物や門跡を発見 飛鳥時代の詳細解明へ (2022年1月14日 夕刊三重) ・飛鳥時代に思いはせ 地元の昔に 興味津々 斎宮跡で発掘の説明会 (2022年1月15日 夕刊三重) ・発掘成果の新映像公開 来月記念講演も 県立斎宮歴史博物館 (2022年2月17日 朝日新聞)			

評価軸⑤-2

効果・影響等に関する報道

報道等タイトル		年月日	掲載紙等
平安びと スポーツ満喫 弓・馬・鞠・鷹・相撲 斎宮歴史博物館 絵巻など展示		R3.10.3	中日新聞
斎宮歴史博物館 斎宮の実像、CGで再現 県総合文化センターで記念講演会も開く 新たな展示映像をお披露目		R4.3.14	夕刊三重
3年ぶり待望の斎王まつり 6月5日開催「群行」の出演者55人募集		R4.3.15	中日新聞
日本遺産「斎王のみやこ」認定継続 世古口町長「さらに生かす」4年で観光客6万7千人増		R3.7.17	夕刊三重
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
□計画の進捗に影響あり ■計画の進捗に影響なし			
状況を示す写真や資料等			
●明和町歴史的風致維持向上計画に関する記事 ・斎宮や伊勢街道の環境整備へ 明和町 歴史資源生かす第2期計画認定 (2021年4月1日 中日新聞) ・明和町 大淀や伊勢街道も視野に 歴史的風致維持向上計画 国から第2期認定受け整備へ (2021年4月19日 夕刊三重) ・第2期「歴史的風致維持向上計画」明和町を国が認定 (2021年5月12日 伊勢新聞) ●斎宮跡の紹介・催し・イベントに関する記事 ・「どんな物を入れた？」須恵器壺Gなど26点 斎宮歴史博物館で (2021年4月2日 夕刊三重) ・散文で読む式部と敦道 斎宮歴博で古典文学講座 講師に村口准教授 (2021年4月3日 夕刊三重) ・斎宮に園芸文化あった？ 来月23日まで斎宮歴博で平安後期の陶器の鉢など展示 (2021年4月22日 夕刊三重) ・みやびな王朝文化体感 斎宮歴博で来月5日まで 特別展「再現！姫君の空間」開く (2021年8月20日 夕刊三重) ・「我が家で斎宮歴史博物館」第3弾の動画 公開始まる (2021年9月23日 中日新聞) ・明和町・斎宮歴史博物館 飛鳥の煮炊具を展示 発掘の最新成果披露 来月から (2021年9月29日 伊勢新聞) ・平安びと スポーツ満喫 弓・馬・鞠・鷹・相撲 斎宮歴史博物館 絵巻など展示 (2021年10月3日 中日新聞) ・「賀茂競馬図屏風」など51点 斎宮歴博で 来月21日まで 見て楽しむ「平安五種競技」展 (2021年10月9日 夕刊三重) ・「リアルな土器」長胴甕 斎宮歴博で 西暦700年前後の煮炊具展 (2021年10月14日 夕刊三重) ・貴族が夢中、蹴鞠知る 斎宮歴博でミニ展示学芸員目指す大学生ら企画 直径20センチの模造品、解説も (2021年10月23日 夕刊三重) ・斎宮の「長胴がめ」を披露 飛鳥末一奈良初期 煮炊き用土器3点 歴史博物館 出土品と説明パネル (2021年11月12日 中日新聞) ・平安と最新映像の美 融合 あすー21日「さいくう平安の杜」 斎王の群行やデジタルアート投影 住民らの花畑も (2021年11月18日 中日新聞) ・斎宮実像に迫る新映像公開 3月12日に斎宮歴博 県総合文化センターで講演会も (2022年1月29日 夕刊三重) ・斎宮歴史博物館「懐かしい」昔の映像展示 パネルと資料で 新作制作の様子も紹介 (2022年2月22日 夕刊三重) ・斎宮歴史博物館 20年ぶり新映像 撮影風景などメイキング展 シナリオや写真、歴代の資料も 26日からの上映前に (2022年3月3日 中日新聞) ・梅咲き 春到来 斎宮歴史博物館裏 奈良時代の花見 思いはせ (2022年3月10日 中日新聞) ・斎宮歴史博物館 斎宮の実像、CGで再現 県総合文化センターで記念講演会も開く 新たな展示映像をお披露目 (2022年3月14日 夕刊三重) ・50年にわたる発掘調査で解き明かされたドキュメンタリーとアニメ 斎宮歴史博物館の新映像 (2022年3月14日 三重テレビ放送) ●斎王まつりに関する記事 ・3年ぶり待望の斎王まつり 6月5日開催「群行」の出演者55人募集 (2022年3月15日 中日新聞) ●日本遺産に関する記事 ・日本遺産4件「再審査」秋以降、取り消しの可能性 (2021年7月17日 中日新聞) ・日本遺産 再検査 岐阜などの4件 (2021年7月17日 読売新聞) ・日本遺産「斎王のみやこ」認定継続 世古口町長「さらに生かす」4年で観光客6万7千人増 (2021年7月17日 夕刊三重)			

評価軸⑤-3

効果・影響等に関する報道

報道等タイトル		評価対象年度	令和3年度
年月日		掲載紙等	
声の代わりに かしわ手 いつきのみや体験館で行事 2年ぶり開催 年末恒例、追儺のまつり		R3.12.20	夕刊三重
スマホ片手に名所巡って 明和観光商社 デジタルスタンプラリー		R4.1.12	中日新聞
地域が育み 咲いた春 明和の菰川沿い 菜の花見頃		R4.3.7	中日新聞
「斎王」デザイン御朱印 新調 明和町斎宮・竹神社「満月御朱印」も一新地域おこし協力隊員やイラストレーター担当		R4.2.17	朝日新聞
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
進捗状況 ※計画年次との対応			
実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)			
☐ 計画の進捗に影響あり ☒ 計画の進捗に影響なし			
状況を示す写真や資料等			
●史跡斎宮跡の活用に関する記事 ・秋晴れコスモス鮮やか 明和で平安時代の風景と競演 (2021年10月15日 夕刊三重) ・十二単のお花畑 明和町斎宮に「斎王の庭」 虹と夜、2テーマでデザイン (2021年12月11日 夕刊三重) ・心の鬼を追う払い幸せな新年を 明和で追儺のまつり (2021年12月20日 中日新聞) ・声の代わりに かしわ手 いつきのみや体験館で行事 2年ぶり開催 年末恒例、追儺のまつり (2021年12月20日 夕刊三重) ・スマホ片手に名所巡って 明和観光商社 デジタルスタンプラリー (2022年1月12日 中日新聞) ・「コスプレ物語」参加募る さいくう平安の杜周辺 来月20日にイベント (2022年2月4日 夕刊三重) ・今夏、花畑で「かくれんぼ」 国史跡斎宮跡に「斎王の庭」第2弾 明和町の観光商社 高さ1～2.5メートルの苗植える (2022年3月2日 夕刊三重) ・地域が育み 咲いた春 明和の菰川沿い 菜の花見頃 (2022年3月7日 中日新聞) ・食や音楽、往年の名車など 明和町斎宮の上園芝生広場でこどもわいわいフェス開く (2022年3月22日 夕刊三重) ●竹神社に関する記事 ・災難はらう 茅の輪 明和・竹神社 来月4日まで設置 (2021年6月25日 中日新聞) ・「夏越しの祓えに」氏子総代ら手作り 竹神社(明和町斎宮)に初の茅の輪 (2021年6月25日 夕刊三重) ・20日に「満月夜参り」3カ月ぶりに開催 明和町斎宮の竹神社で (2021年10月18日 夕刊三重) ・通年版の御朱印を一新 明和町斎宮の竹神社で頒布 斎王モチーフに辻さん(大淀)描く (2022年2月2日 夕刊三重) ・「斎王」ゆかり御朱印 通常用と満月用一新 明和・竹神社 (2022年2月6日 中日新聞) ・「斎王」デザイン御朱印 新調 明和町斎宮・竹神社「満月御朱印」も 一新地域おこし協力隊員やイラストレーター担当 (2022年2月17日 朝日新聞) ・竹神社 デジタル御朱印を配布 明和観光商社など実証実験 データ複製できない仕様 (2022年3月19日 夕刊三重)			

評価軸⑤-4

効果・影響等に関する報道

報道等タイトル		評価対象年度	令和3年度
年月日		掲載紙等	
明和町の魅力 お耳に 三重 元職員がネットラジオ 古民家改装「斎宮すたじお」		R3.4.21	中日新聞
明和町ドローン隊発進 世古口町長発案で実現 空から観光動画や被災確認 5課の5人が操縦技能 今後の活用方法広がり期待		R3.6.18	夕刊三重
斎王役の壇蜜さん 十二単で対談 明和のプロジェクションマッピング出演		R3.11.23	中日新聞
壇蜜さんの斎王列車走る 近鉄の急行列車4両 紫色の車体にアニメキャラも 明和観光商社が企画 名古屋ー松阪間など7月まで		R3.12.24	夕刊三重
京都から斎宮に「群行」体験 列車ツアー 明和の観光名所巡る		R4.1.20	中日新聞
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
進捗状況 ※計画年次との対応			
実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)			
☐ 計画の進捗に影響あり ☒ 計画の進捗に影響なし			
状況を示す写真や資料等			
●明和町観光PRに関する記事 ・明和町の魅力 お耳に 三重 元職員がネットラジオ 古民家改装「斎宮すたじお」 (2021年4月21日 中日新聞) ・①明和と伊勢を紹介「まちあるき」パンフ ②まちかど博物館へGo! 明和で「創作人形」展 (2021年4月24日 伊勢志摩ホームニュース) ・明和の魅力 古民家から発信 fmGIG「斎宮すたじお」元職員がネットラジオ開局 (2021年4月25日 中日新聞) ・御糸織 気軽に触れて 明和できょう カフェで特産PR (2021年4月27日 中日新聞) ・擬革紙と御糸織をカウンターに 明和町役場で 工芸品をPR (2021年6月8日 中日新聞) ・明和町ドローン隊発進 世古口町長発案で実現 空から観光動画や被災確認 5課の5人が操縦技能 今後の活用方法広がり期待 (2021年6月18日 夕刊三重) ・コロナ後に向け 斎宮駅改修など観光整備 本年度に明和観光商社 京都からイベント列車など計画 3本柱事業に3億6640万 (2021年6月29日 夕刊三重) ・斎宮の復元建物にあすから映像投影 壇蜜さん、斎王役に (2021年11月18日 夕刊三重) ・平安の建物幻想的に 壇蜜さん登場、回廊歩く 斎宮の復元建物で (2021年11月20日 夕刊三重) ・神宮ゲートウェイ始動 明和観光商社 レストランバスも出発進行 (2021年11月22日 夕刊三重) ・斎王役の壇蜜さん 十二単で対談 明和のプロジェクションマッピング出演 (2021年11月23日 中日新聞) ・一過性の催し 限界も「斎宮跡」へ誘客 明和町が意欲 (2021年11月29日 中日新聞) ・三重県明和町、無人の観光スポットでアバター接客の実証実験、神社や駅舎でオペレーターが遠隔対応 (2021年12月13日 観光産業ニュース) ・壇蜜さんの斎王列車走る 近鉄の急行列車4両 紫色の車体にアニメキャラも 明和観光商社が企画 名古屋ー松阪間など7月まで (2021年12月24日 夕刊三重) ・斎宮駅に「楽」、撮り鉄沸く 近鉄の団体 貸し切り列車 (2022年1月11日 夕刊三重) ・京都から斎宮に「群行」体験 列車ツアー 明和の観光名所巡る (2022年1月20日 中日新聞) ・明和観光 アバターが案内 実証実験スタート 感染に配慮 遠隔操作で動きや表情変化 (2022年2月3日 中日新聞) ・明和町 斎宮跡整備事業に意見求む 事後評価 原案を公表 観光客誘致など今後の施策も (2022年2月5日 夕刊三重) ・明和町斎宮 観光案内の拠点に 近鉄斎宮駅の待合室 リニューアルでモニター新設 名所や店、アニメキャラが紹介 (2022年2月18日 夕刊三重) ・斎宮でシンポ 観光の地域づくり議論 オンラインで講演など 花や女子力などキーワードも (2022年2月21日 夕刊三重) ・斎宮跡生かした 観光振興考える 明和でシンポ (2022年2月23日 中日新聞) ・明和観光商社などCFで活動資金募る 擬革紙 もっと広めたい 名刺入れやバッグなど返礼品に (2022年3月4日 中日新聞) ●その他 ・伊勢擬革紙発表会 (2021年5月13日 読売新聞) ・参宮ブランド擬革紙の会 額縁やドレスなど100点 16日まで市文化財セで (2021年5月14日 夕刊三重) ・江戸期考案 復元に成功「擬革紙」の作品一堂に 松阪できょうから (2021年5月14日 毎日新聞) ・擬革紙 伝統の技術知って 松阪であすまで展示 江戸時代に人気 有志が復刻 (2021年5月15日 中日新聞) ・「心の癒やし賜った」明和町の御糸地区で 陽珠院など5寺社で「福神巡り」 (2021年5月29日 夕刊三重) ・ハナショウブ群落保護 ふるさと納税で資金調達 明和町「未来に残すため協力を」 (2021年6月3日 伊勢新聞) ・古今のひな飾りなど300点 いつきのみや歴史体験館で 人形で「斎王群行」も再現 (2022年2月15日 夕刊三重) ・斎宮歴史博物館「懐かしい」昔の映像展示 パネルと資料で 新作制作の様子も紹介 (2022年2月22日 夕刊三重) ・明和町の魅力、再発見 近鉄主催 ロゲイニング 県内外から73人周遊 (2022年3月22日 夕刊三重)			

項目		評価対象年度	令和3年度
住民意識の向上			
計画に記載している内容	地域の歴史的資源の保全や伝統文化の継承に取り組む各種団体を町内だけでなく、「斎宮」と深い関わりを持つ伊勢市内(伊勢神宮)の団体を含め、町広報等で紹介したり、各種イベントやシンポジウムの開催時に発表の場や機会を設けたりして活動の活発化を図る。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で。記事・議会議事録等を添付			
1. 新型コロナでイベント等が中止される中、竹神社では、毎月満月の夜「満月夜参り」や「花手水」の実施。 2. 地域の住民が古民家を活用したイベントの開催や個人又は団体が、地域の文化財の案内、草刈り、植栽などを実施するなど住民による様々な取り組みが行われている。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☐ 計画の進捗に影響あり ☒ 計画の進捗に影響なし			
状況を示す写真や資料等			
			
竹神社:花手水		和の市三重(10月30日、31日) 会場:古民家「湊標(みおつくし)」	
			
こどもわいわい秋まつり:大判かるた取り (11月14日)		ボランティアによる桜ライトアップ(4月1日～3日)	

項目	評価対象年度	令和3年度
----	--------	-------

住民意識の向上

状況を示す写真や資料等

地域住民のボランティア活動による地域の魅力の伝達



地域の文化財 明星水のガイド.



ボランティアによる小金3号墳の説明



郷土文化を守る会による高塚1号墳の
樹木伐採・草刈り作業



多気郡農協新店舗に設けられた文化財展示室



ボランティアによる花畑「斎王の庭」づくり



項目		評価対象年度	令和3年度
学校教育との連携			
計画に記載している内容	小学校等の教育の場において、町内の歴史文化に直接触れ、親しむ時間を設けるなどして、次代を担う人材の育成にも積極的に取り組んでいく。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で。記事・議会議事録等を添付			
日本遺産マンガ解説本の授業での活用のほか、出土品に触れてもらったり、紙芝居による斎宮の歴史教育などを行った。また、小学校教員を対象とした文化財の研修も行い、町内の歴史文化に触れてもらうよう取り組んだ。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☐ 計画の進捗に影響あり ☒ 計画の進捗に影響なし	今後も引き続き、学校と連携を取りながら、歴史文化に触れる機会をつくっていく。		
状況を示す写真や資料等			
			
教員夏季文化財研修(8月19日)		文化財研修の配布物	
			
修正小学校斎宮跡案内(6月8日)		修正小学校 出土遺物保管庫案内(6月8日)	

法定協議会等におけるコメント

(様式2)

評価対象年度	令和3年度
・法定協議会等におけるコメント	
コメントが出された会議等の名称： 明和町歴史的風致維持向上計画協議会	
会議等の開催日時	令和3年12月22日(水) 13:30~16:00
(コメントの概要)	
議事の内容 1. 現地視察 2. 2期計画の事業について 3. 明和町歴史的風致維持向上計画の軽微な変更について 4. 都市再生整備計画事業の事後評価について	
コメント	3. 明和町歴史的風致維持向上計画の軽微な変更について ①事業手法が町単独から補助事業に変更しているのは補助が下がったからか。 ②神宮橋左岸側に太陽光パネル多い。景観上懸念。南裏広場は今後の整備に期待。歩道は朱色ではなく茶色の方が良い。 4. 都市再生整備計画事業の事後評価について ③評価値の作成方法について聞きたい。 ④住民参加について、インターネット中心だけでなく地元を重視して情報発信してもらいたい。現状高齢者に伝わらないことも多い。 ⑤地元コミュニティとのつながり重要。 ⑥明和観光商社のように外から来て魅力を感じ起爆剤になる一方で地元が取り残されてはいけない。 ⑦各団体が上手にかみ合うよう、町も協力してもらいたい。 ⑧地元が置き去りでは持続しない。バランスが重要。 ⑨来訪者、地元住民両方にとっての価値向上を目的に事業、計画を運営してもらいたい。 ⑩今後住民参加が益々重要になってくる。伊勢街道の古民家活用をぜひ実現してもらいたい。 齋宮すたじおは良いモデルケースになる。 ⑪今年は修学旅行はどのような状況か。
回答	①計画策定段階では補助事業で記載できなかったため今回軽微な変更で記載することになった。 ②カラー舗装については、茶系＝古代道路復元、赤系＝歩道、散策道とすみ分けている。 ③観光協会などから報告される数値を基に作成。モニタリングは令和元年度、評価値は令和2年度の数値。 ④～⑩民間団体等が事業を進めるうえで、自治会に説明しているが、そこから先の個人への伝わり方など、課題がある。どのようにすれば地元や既存の団体を巻き込んで上手く進めるか模索している。今後、検討していく。 ⑪博物館には県内北勢地域からが多く来る。昨年は60校3000人が訪れた。今年は現時点でそれ以上に来ている。今後10校以上が予定している。ただし旅行会社によると来年は京都など県外に行く予定をしている学校が多いと聞いている。
(今後の対応方針)	
・歴まち2期計画については、明和町文化財保存活用地域計画との連携を図る。 ・さらに、景観行政団体への取り組みも県や庁舎内の部局と調整を図っていく。 ・事業を進める中で、地域の人を取り残されないよう情報共有して、地域の人、各種団体と調整し、連携を図る。	